



寒いからこそ楽しい

2019

# 仙北市の冬まつり

各地域で冬まつりが開催され、賑わいをみせました。春の訪れはうれしいけれど、来年まで待ち遠しいですね。後半の冬まつりをご紹介します。

## 願いを込めたカンデッコ

2月19日、西木町松木内の中里塞之神堂前で「中里のカンデッコあげ」が行われました。当日は小雨の降る中、中里地区の住民や県内外から訪れた観光客が朴の木で作った小型の鍬（カンデッコ）と胡桃の木で作った男根をしめ縄の両端に結んだものを、神木である桂の木に願いを込めて投げかけました。投げかける桂の木は相当の高さがあり、参加者は枝にかかるまで、何回も挑戦していました。



たくさんの願い、叶うとよいですね！



桂の木にカンデッコをかけるのは至難の業。

## 裸で無火災を祈願



金比羅神社まで一気に駆け上がります。



松木内川でお清めする参加者。

2月17日、西木町松木内松葉地区で、金比羅神社に無火災の祈願をする「松葉・相内の裸参り」が行われました。今年地域での消防署員や県外などから13人が参加し、11時に松木内地区公民館を出発し松木内川でお清めをしました。その後、沿道の声援を受けながら勇ましかけ声とともに旭山を一気に駆け上り、金比羅神社に無火災の祈願をしました。

## わらたいまつで行進

2月19日、市役所田沢湖庁舎駐車場で田沢湖生保内地区に古くから伝わる小正月行事「なろか」が行われました。この行事は、稲わらに火をつけて振り回し、1年の豊作を願うものです。当日は、時折雨が降りましたが、予定どおりお焚き上げやわらたいまつ行進が行われたほか、恒例の揚げパンやそば、うどんなどを買い求めに、多くの家族連れなどが会場に訪れました。

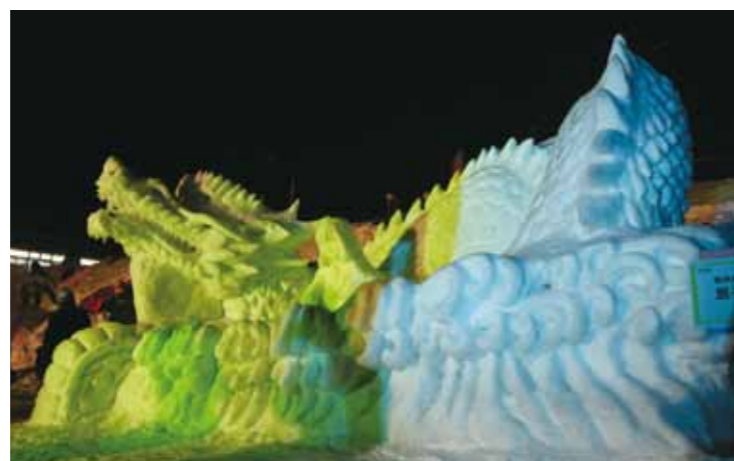


揚げパンやそば、うどんは人気。長蛇の列ができました。



稲わらに火をつけて豊作を願いました。

## 多彩な雪像がお出迎え



ライトアップされた雪像も来場者を楽しませました。



たくさんの屋台が軒を連ね、会場は賑やかな雰囲気。

2月16日、17日の2日間、たざわ湖スキー場特設会場で「第48回田沢湖高原雪まつり」が開催されました。16日は多彩なステージショーのほか、お尻の下に肥料袋を敷いて滑った距離を競う「けっちぞり大会」に30人以上が参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。また、17時からは雪像がライトアップされる中、紙風船上げや火振りかまくらが行われ、花火大会では、多

くの来場者が光に彩られた冬の夜空を見上げていました。17日には、田沢湖龍神太鼓と県内のダンスチームによるコラボレーションで、雪まつりのフィナーレを飾りました。会場内には地元の出店者による屋台が並び、人気の一杯を決める「汁・椀グランプリ」は両日ともに好評で、来場者は美味しい食べ物食べて温まりながら楽しんでいました。